

松嶋夜話 卷之下 63

〔原文〕翌日啓建水月懺摩場

〔訓読〕翌日水月懺摩場を啓建す

〔原文〕相尋兩日間莊戒壇

〔訓読〕相ひ尋ねて、兩日の間戒壇を莊す

〔原文〕說戒遠近受其濟度者三百餘頭

〔訓読〕說戒、遠近に其の濟度を受くる者、三百餘頭

〔原文〕余見遂彼之志願

〔訓読〕余彼の志願を遂げるを見て

〔原文〕與太峯法號

〔訓読〕太峯の法號を與へて

〔原文〕轉位于圓福

〔訓読〕位を圓福に轉ぜしむ

※圓福…不明

〔原文〕以偈一調嘉尚之曰

〔訓読〕偈一調を以て之を嘉尚して曰はく

〔原文〕勞形土木

〔訓読〕形を土木に勞す

〔原文〕數年間功業偉哉

〔訓読〕數年の間、功業偉なるかな

〔原文〕宰太峯而今復敬佛天德

〔訓読〕太峯を宰して今復佛天の徳を敬す

〔原文〕香火不虧奉上宮

〔訓読〕香火虧けば上宮に奉ず

〔原文〕山曰太平山

〔訓読〕山は太平山と曰ふ

〔原文〕圓滿國師開山

〔訓読〕圓滿國師山を開く

〔原文〕今日太峯豎先師智光禪師牌位爲中興祖矣

〔訓読〕今日太峯、先師智光禪師の牌位を豎（た）て、中興の祖爲り

〔原文〕佛事濟而歸于松島

〔訓読〕佛事濟して松島に歸す